農地保全事業（地すべり対策事業）【太陽地区】

事業の概要

○目　的

本地区は、新冠町市街地の北部に位置する厚別川支流の比宇川（びうがわ）沿いに広がる農業地帯であり、畑作や水田を中心とした営農が展開されている。

地区内の地形は、河岸段丘を呈し、地質等から地すべりが発生しやすい条件となっており、昭和63年頃から地すべりによる土塊の移動が見られ、平成２年頃からその動きが活発となり、豪雨時や融雪期には地すべりが発生し、農地や農業用施設に被害が発生していた。

このため、本事業により抑止工、地表水排除工、地下水排除工などの対策工を実施することにより、地区内における地すべりの発生を抑制し、農地や農業用施設の保全、営農環境の確保、地域住民の生活の安定と国土保全に資する。

○概　要

関係市町村　新冠郡新冠町
事業費　1,276百万円
事業工期　平成４年度～平成23年度
（計画変更：平成16年度）
受益面積　39ha
主要工事　抑止工（法面工6,279 m²、土留工80m、杭打工 120m、法枠工85m）
地表水排除工（水路工3,617m）
地下水排除工（集水井工 ４箇所、横穴工3,726m）
関連事業　なし

【位置図】

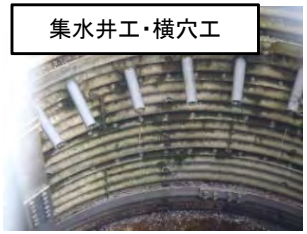
事業の実施状況と効果

実施状況

○　実施前の被災状況

○　対策工の実施

対策工の実施により防止区域内での農地や農道が保全され営農環境が確保



事業の効果

※　費用便益比（B/C）：1．11

本事業による対策工の実施により、地すべりが活性化した平成２年の日最大降水量（115mm）を超える降雨が平成28年（日最大降水量：145mm）にあったものの、地すべり被害は発生しておらず、農地が保全され農業生産が維持されるとともに、被害想定区域を流れる河川の下流域も含め、地域住民の生活の安定と国土保全が図られている。

※　地すべりが活性化した年の降雨量と実施後の降雨量

	降水量（mm）			備考
	合計	日最大	1時間最大	
平成2年降雨	1,459	115	27	地すべりが活性化した年
平成28年降雨	1,736	145	54	対策後の豪雨年
実施前平均降雨	1,136	92	21	S62～H3までの5ヶ年平均
実施後平均降雨	1,325	90	31	H24～H28までの5ヶ年平均

＜波及効果＞6次産業化の取組

本事業により農地や農業用施設の地すべりによる被害が解消され、安定した農業生産が可能となったことにより、地区内農産物（ピーマン）を利用したソフトクリーム等の加工品が物産店で販売されており、農産物の高付加価値化が図られているとともに、物産店では4～5人の雇用が創出され、地域の活性化に寄与している。